

広報みしま

11月15日号

- 2 三島馬鈴薯が国のブランド認定を取得
- 4 共に生きる
- 6 平成28年度全国学力・学習状況からみるみしまの子どもたち
- 8 三島函南農業祭 / みしま生活展 / 楽寿園からのお知らせ
- 9 健康づくり
- 10 スポーツ
- 11 市町対抗駅伝大会出場選手紹介 / 東レアローズを応援しよう / 脂肪燃えるんピック参加者募集
- 12 暮らしの情報
- 13 生ごみ減量大作戦
- 14 情報ワイド版 / 文化のひろば
- 15 生涯学習 / 図書館
- 16 三島げんきッズおのりん先生と遊ぼう！ / がんばる！元気な！市民活動団体「いきいきクラブ」

今回の表紙

10月23日(日)の「ハロウィン・パレード」の様子です。

子どもの参加人数日本一に認定された昨年を上回る、過去最多の約1万人が参加し、大通り商店街はハロウィン一色に染まりました。



県内初

地理的表示 (GI) ～地域ブランド保護制度～
(Geographical indication)

三島馬鈴薯 (メーカー) が 国のブランド認定を取得



JA 三島函南の取り組みを市が支援し、地理的表示登録へ

10月12日、三島馬鈴薯は県内初の地理的表示 (GI) 登録産品として認定されました。

●地理的表示 (GI) 保護制度とは
気候や風土などの生産地の特性と、それらと結びついた伝統的製法により、高い品質と評価を獲得した産品の名称 (地理的表示) を



◀登録証を受け取る
JA 三島函南柿島組合長 (写真右)

知的財産として、国が保護する制度です。登録産品は地域ブランド産品として、「GIマーク」により他の産品と差別化されます。この登録は、非常に壁が高く、それだけ多くの付加価値を生みます。

厳しい審査を通過し、夕張メロンなどと並ぶブランド産品として認められたことはとても価値あることです。現在、全国で計21品目が登録されています。▲GIマーク





外岡賢大さん
(JA 三島函南経済部)

登録に向け、歴史性や地域性などを証明するための文献や資料を集めることは大変でしたが、改めて三島馬鈴薯の価値を見つめ直す良い機会になりました。GIへの登録は、若い世代が農業に注目するきっかけになることを期待しています。今後も努力していきます。



高木信泰さん
(三島馬鈴薯部会長)

生産者、農協、市の一致協力のもとブランド化に取り組んできたことが受賞につながったと考えています。

手掘りによる収穫や、完全風乾などは手間がかかりますが、これからもよいものを作るため、より一層頑張っていきます。



【写真の説明】

- ①手作業で掘り起こす
- ②掘り起こした馬鈴薯を畑に広げ天日干しし、ハタキなどで土をおとす
- ③風通しの良い薄暗い場所で乾燥・熟成
- ④ JA 三島函南の厳格な検査を通過したものが出荷される

～三島馬鈴薯の特徴～

市内を中心とした箱根西麓地区で栽培され、煮くずれしにくさ（メークインの特徴）と、ほくほく感（男爵の特徴）を合わせもっています。おいしさと保存性の良さから、同時期の他産地のものと比べ2～5割程度の高値で取引される貴重な馬鈴薯。出荷期間は7月からの約1カ月間のみ。

箱根西麓地区の標高、気温、地形などの環境条件の中で、丁寧に手掘りで収穫し、1～2週間程度、風通しの良い冷暗所で風乾貯蔵を行い熟成させ、高品質な馬鈴薯を作っています。

高い品質が認められた三島馬鈴薯のさらなるブランド力向上に期待がふくらみます

● 10月20日に市長表敬訪問

JA 三島函南と三島馬鈴薯部会生産者が豊岡市長を表敬訪問し、三島馬鈴薯の地理的表示保護制度の登録証を受け取ったことを報告しました。



▲市長に登録の喜びを報告

【豊岡市長】

三島馬鈴薯の地理的表示への登録は、JA 三島函南、生産者の皆様が長年、品質の高いおいしい三島馬鈴薯を生産、販売してきた努力のたまものと嬉しく思います。

市とJA 三島函南では、「箱根西麓三島野菜」のブランド化に協働で取り組んでまいりました。

地理的表示の認証を契機に、三島馬鈴薯の認知度はさらに高まるものと思われま。市としても三島馬鈴薯の魅力を多方面に発信

し、三島のまちづくりに生かしていきたいと考えております。

【JA 三島函南柿島組合長】

箱根西麓地域で採れた三島馬鈴薯が、多くの皆様のご協力により、地理的表示保護制度に登録されたことを心からお礼申し上げます。

手掘り作業の生産者、行政の応援、「みしまコロッケ」を盛り上げてくれた各販売店のご尽力に、感謝しております。今後、産地の維持とオール三島で農商工連携を強め、ブランド力の向上に努めます。